

実施可能な医療機関の要件（全体版）

- 1 稀な疾患の遺伝子診断
- 2 悪性腫瘍の遺伝子診断
- 3 抗癌剤感受性試験、薬剤耐性試験
- 4 画像診断機器を用いた侵襲的な行為を伴う検査
- 5 センチネルリンパ節の同定と検索
- 6 内視鏡下で行う外科手術
- 7 移植手術
- 8 医療機器を使った技術（ラジオ波焼灼療法）
- 9 医療機器を使った技術（エキシマレーザーなど）
- 10—1 活性化リンパ球移入療法、血管再生治療
- 10—2 細胞培養等を伴う技術
- 11 放射線治療
- 12—1 その他の外科手術
- 12—2 その他の外科手術（整形外科領域）
- 13 その他の内科的治療
- 14 歯科的治療

1 稀な疾患の遺伝子診断

- ・ 培養細胞による先天性代謝異常診断
- ・ 溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法
- ・ 進行性筋ジストロフィーのDNA診断
- ・ 性腺機能不全の早期診断法
- ・ 血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断
- ・ 先天性血液凝固異常症の遺伝子診断
- ・ 筋緊張性ジストロフィーのDNA診断
- ・ 栄養障害型表皮水疱症のDNA診断
- ・ 家族性アミロイドーシスのDNA診断
- ・ マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断
- ・ 不整脈疾患における遺伝子診断
- ・ 成長障害のDNA診断
- ・ ミトコンドリア病のDNA診断
- ・ 神経変性疾患のDNA診断
- ・ 脊髄性筋萎縮症のDNA診断
- ・ 特発性男子不妊症・性腺機能不全症の遺伝子診断
- ・ 遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断
- ・ 重症BCG副反応症例における遺伝子診断
- ・ Q熱診断における血清抗体価測定および病原体遺伝子診断
- ・ 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断
- ・ 中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断
- ・ 活性化血小板の検出
- ・ ケラチン病の遺伝子診断
- ・ 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断
- ・ グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：培養細胞による先天性代謝異常診断（24）	
適応症：胎児や新生児の先天性代謝異常症	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科 等
資格	要（関連学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	1例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（細胞培養、遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例1例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名:溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法（4 5）	
適応症：先天性溶血性貧血	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科
資格	要（血液学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	1例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（酵素活性、遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例1例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：進行性筋ジストロフィーのDNA診断（74）	
適応症：Duchenne型筋ジストロフィー、Becker型筋ジストロフィー、福山型先天性筋ジストロフィー	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科、神経内科
資格	要（神経内科学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	1例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例1例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：性腺機能不全の早期診断法（84）	
適応症：小陰茎、停留辜丸、尿道下裂、半陰陽、原発性無月経、生理不順、多毛、性染色体異常	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	小児科、泌尿器科
資格	要（小児科、泌尿器科学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	3例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 （薬剤師、臨床工学技士等）	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 （患者容態急変時等）	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例3例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1）当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2）医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断（94）	
適応症：血小板無力症、Bernard-Soulier 症候群	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科 等
資格	要（血液学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	1例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（フーサイトトトリーや電気泳動等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例1例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：先天性血液凝固異常症の遺伝子診断（111）	
適応症：アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科 等
資格	要（血液学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	1例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例1例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：筋緊張性ジストロフィーのDNA診断（118）	
適応症：筋緊張性ジストロフィー	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科 等
資格	要（神経学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	1例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例1例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：栄養障害型表皮水疱症のDNA診断（121）	
適応症：栄養障害型表皮水疱症	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科、皮膚科
資格	要（皮膚科学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	2例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例2例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：家族性アミロイドーシスのDNA診断（122）	
適応症：家族性アミロイドーシス	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科、神経内科
資格	要（関連学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	2例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例2例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：マス・スペクトロトリーによる家族性アミロイドーシスの診断（124）	
適応症：トランスシルリン異常による家族性アミロイドーシス	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科、神経内科
資格	要（関連学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	2例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 （薬剤師、臨床工学技士等）	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 （患者容態急変時等）	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（マス・スペクトロトリー等に必要機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例2例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1）当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2）医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：不整脈疾患における遺伝子診断（127）	
適応症：先天性QT延長症候群	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科、循環器科
資格	要（循環器学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	3例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	要 連携の具体的内容：心臓血管外科
医療機器の保守管理体制	要（遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例3例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：成長障害のDNA診断（135）	
適応症：特発性低身長症	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	小児科
資格	要（小児科学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	3例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例3例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。

当該技術の実施医療機関の要件（基本1）

高度先進医療名：ミトコンドリア病のDNA診断（148）	
適応症：高乳酸血症などのミトコンドリア機能低下が疑われる疾患	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	内科、小児科
資格	要（関連学会専門医）
当該診療科の経験年数	不要
当該技術の経験年数	3年以上
当該技術の経験症例数	1例以上
その他	
II. 医療機関の要件	
実施診療科の医師数 注2)	常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	不要
看護配置	不要
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	不要
病床数	不要
診療科	要（実施診療科）
当直体制	不要
緊急手術の実施体制	不要
院内検査（24時間実施体制）	要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	要（遺伝子診断等に必要な機器）
倫理委員会による審査体制	要
医療安全管理委員会の設置	要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要（診断が確定した症例1例以上）
その他	自施設内で実施できること。
III. その他の要件	
頻回の実績報告等	不要
その他	

注1) 当該医療技術を適切に実施できるに当たり、必要と考えられる医療機関の要件を記載して下さい。

注2) 医師の資格（学会専門医等）、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の医師が△名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。